

6月のイベント

米子市環境フェアー

「バードコールを作ろう！」

6月7日(日) 10:00~15:00

小鳥の声そっくりな音を鳴らせる楽しい道具「バードコール」を作ります。
とっても簡単で、いい音が鳴りますよ！

対象：申し込み不要・どなたでも参加できます。
参加費：参加無料。先着200名限定！
会場：米子市児童文化センター



自然観察会

「デジカメで水鳥公園の生き物を撮ろう！」

6月13日(土) 10:00~12:00

水鳥公園には、水鳥はもちろん小鳥や昆虫、草花など、色々な生きものが暮らしています。お手持ちのデジカメで、水鳥公園の楽しい仲間たちを撮影してみませんか？

対象：申し込み不要。デジカメを持っている方
ならどなたでも参加できます。
参加費：入館料300円
集合：水鳥公園受付センター レンジャーカウンター前



水鳥公園だより

2009年 6月号(第154号)

6月のみどころ ～クロハラアジサシ～



(全長:29cm)

初夏の水鳥公園上空をふわりふわりと飛ぶアジサシです。毎年春と秋に少数が飛来しますが、春に飛来するものは名前のお腹が黒いのが特徴です。時々水面に急降下して、水面近くにいるメダカなどを捕らえて食べています。

所在地 〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田665 TEL:0859-24-6139 FAX:0859-24-6140

ホームページ <http://www.yonagomizudorikouen.or.jp/> ブログも公開中。是非みてね！

開園時間：4月～10月 9:00～17:30

11月～3月 8:30～17:30(土・日・祝日は、7:00から開園)

入館料：高校生以上70歳未満：一人300円、中学生以下・70歳以上：無料、年間パスポート1500円

休園日：毎週火曜日および祭日の翌日(土曜、日曜を除く)



今月のNEWS

カイツブリの子育て応援キャンペーン中？

愛鳥週間に先駆けて、米子水鳥公園ではカイツブリの浮き巣台を作って設置するイベントを開催しました。発泡スチロール板の上に、プラスチック製の透明な「苗キャップ」というドーム状の覆いをかぶせ、かまぐらのように出入り口を開けます。この巣台の中に、カイツブリが水草を敷いて巣をつくり、繁殖することを期待しています。

これにより、浮き巣の沈没や損壊、天敵に卵やヒナを襲われるのを防ぎ、繁殖成功率を高めようという試みです。この夏、カイツブリが浮き巣台を利用してくれるか注目です。



ネイチャーセンター前の浅瀬復元工事を実施！

ネイチャーセンター周辺のヨシ原が衰退しているのを改善するため、大量の砂を入手して園内の浅瀬の復元工事を行いました。およそ1000㎡の砂をネイチャーセンター北側に投入し、ヨシ原の衰退箇所にかつてヨシ原だった範囲まで埋め戻しました。

すると、早速シギの仲間が興味を持って埋立地に集まり、カハマシギ、ソリハシギ、コトドリ、イソシギ、セウカシギなどが歩き回っていました。また、夕方にツバメの数十羽の群れが埋立地に舞い降り、休憩したこともありました。野鳥たちも興味津々の工事のようです。



コアマモの移植実験を行います

米子水鳥公園では、県の衛生環境研究所と共同で、浅海域や汽水域に繁茂するコアマモという海草の移植実験を5月中旬から始めています。コアマモは、カモ類が好んで食べる海草のため、移植実験中は金属製の籠で移植した株を保護し、生育状況を見る予定です。

米子水鳥公園内に新たにコアマモの群落が形成されると、園内の生態系がより豊かになることが期待できます。



「水鳥公園ブログ」より

2009年5月4日の記事

「GW ガイドウォーク第四弾 春の草花観察」

今日は、春の草花の観察会でした。(画像)

公園の周りの土手を一周し、春の野草を解説しました。



今年は、少し季節が進むのが早いようで、例年まだ残っている花がすでになかったり、逆にすでに初夏の植物が咲いていたりしました。

その中で、今日は一つ勉強になったことがあったのでご紹介します。春の土手の植物にボタン(タンポポモドキ)という植物があります。この名前の由来を知ってますか?この植物、フランス名の「豚のサラダ」という意味だそうです。

そういえば、先日タンポポを天ぷらにしたら意外とおいしかったのを思い出しました。

http://nakaumi.blogspot.com/2009/04/blog-post_30.html

ごんども、ボタンも食べてみようかな。プーブ

Check it out YO!! <http://nakaumi.blogspot.com/>

2009年4月16日～2009年5月13日に見つかった野鳥

カイツブリ、カウ、ダイシギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、(コバクチョウ)、マガモ、カガモ、コガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オカガモ、シマアジ、ハシビロガモ、ホシビロ、キンクロハジロ、スズガモ、ミサゴ、ヒ、オオタカ、ノスリ、チュウヒ、ハヤブサ、キジ、クイナ、バン、オバン、コトドリ、ムナグロ、トウネ、ヒバリシギ、ウスラシギ、ハマシギ、サルハマシギ、エリマキシギ、ツルシギ、アカアシシギ、コアアシシギ、アオアシシギ、クサシギ、タカフシギ、キアシシギ、イソシギ、ソリハシギ、オグロシギ、オオソリハシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、タシギ、セウカシギ、コリガメ、スグロカモ、キジバト、アマツバメ、ヒバリ、ショウドウツバメ、ツバメ、イワツバメ、ツメナガセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビトキ、ヒタキ、シロハラ、ツグミ、セッカ、ホシロ、アオジ、オジヨリ、スズメ、ムクドリ、コムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

計77種+外来種1種 太字の鳥は、注目の鳥や珍しい鳥、()の鳥は外来種です。